

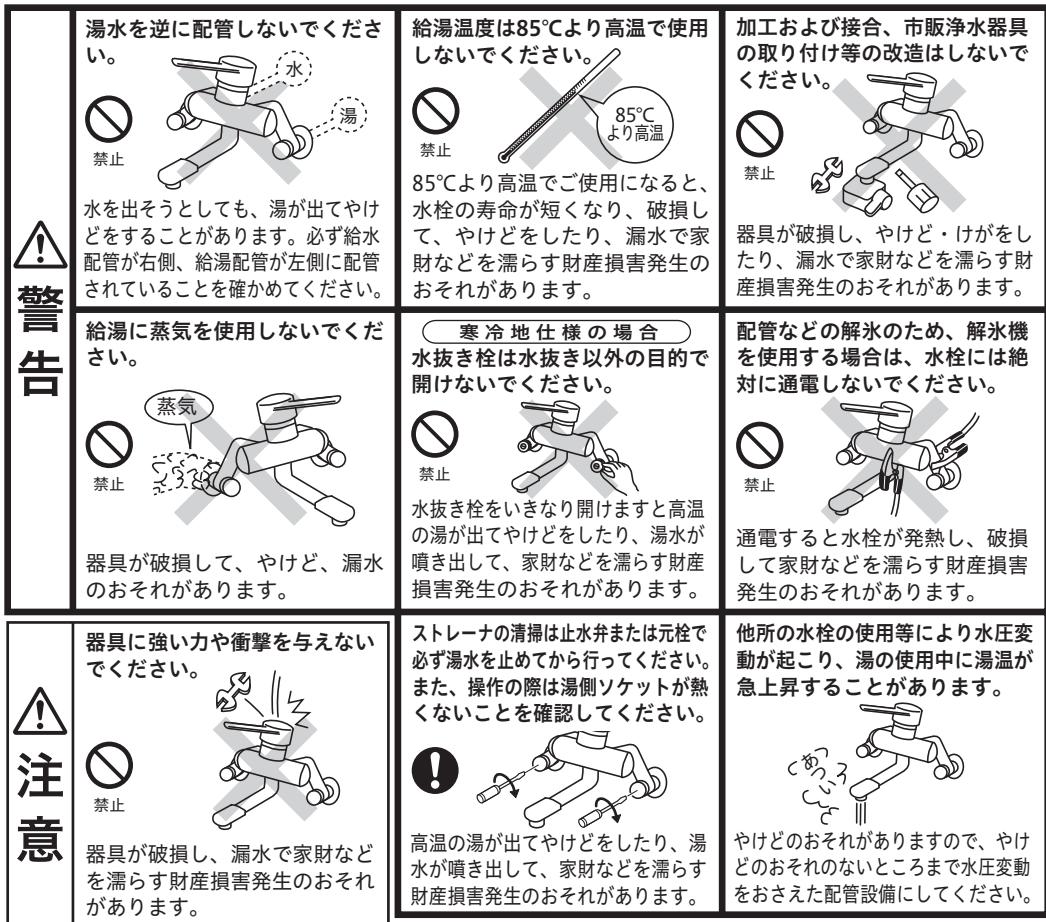
施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

■この取扱説明書はKM5000U仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **△警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **△注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です **この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です**



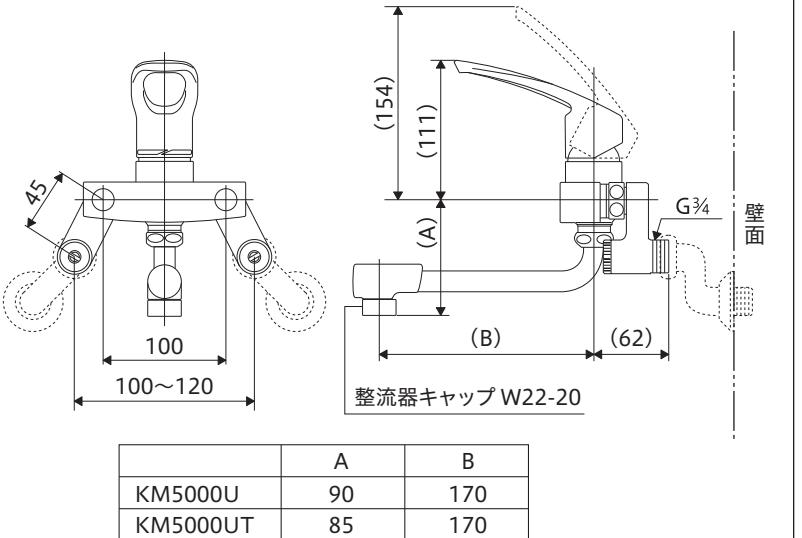
1ページ

寸法図 / 分解図

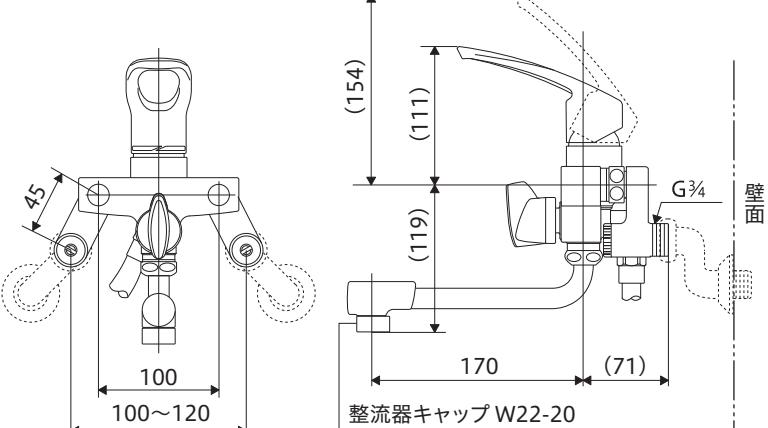
部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

寸法図 アダプターを使用した場合は、前出寸法などが大きくなります。

混合栓仕様

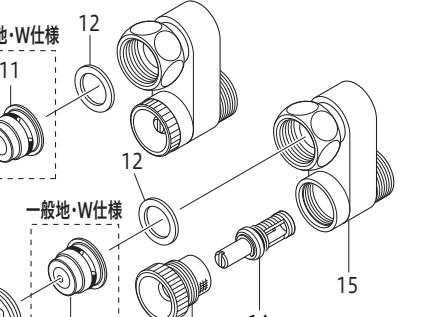
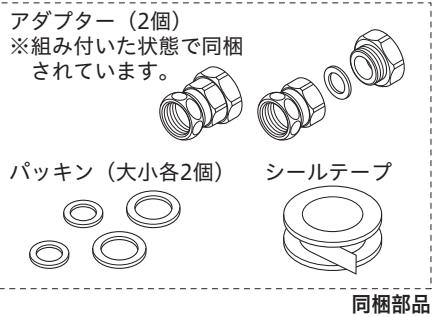
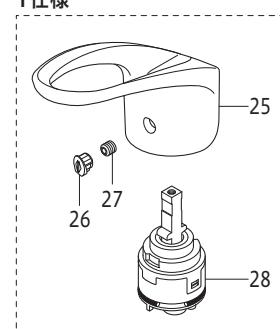


シャワー仕様

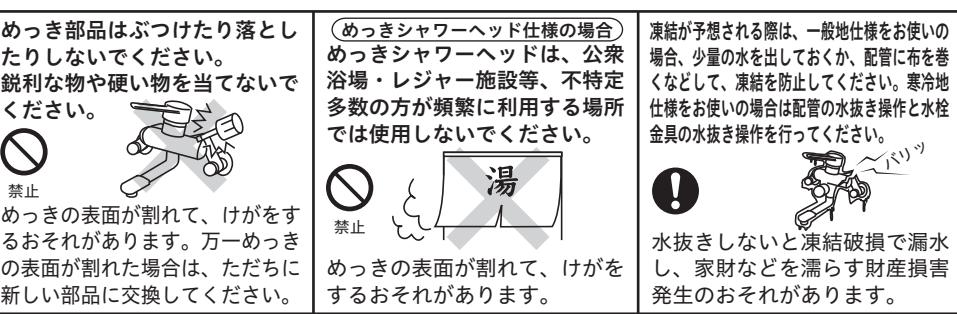
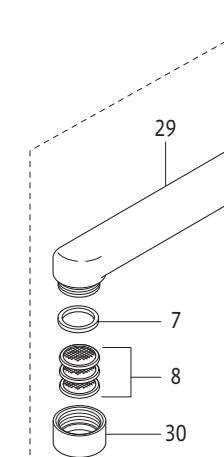


分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

T仕様



T仕様



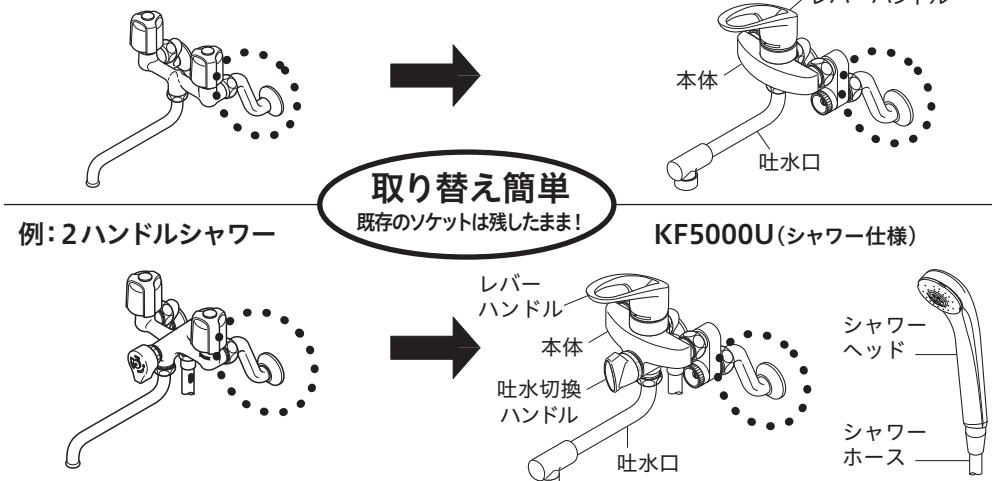
取り付け前に

- ① 使用水圧 $A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失)$
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25°C 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42°C ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: $A+50.0\text{KPa}$ (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水水圧) 最低必要水圧: $A+50.0\text{KPa}$ (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、60°C以下の設定をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称

[取り替え前]

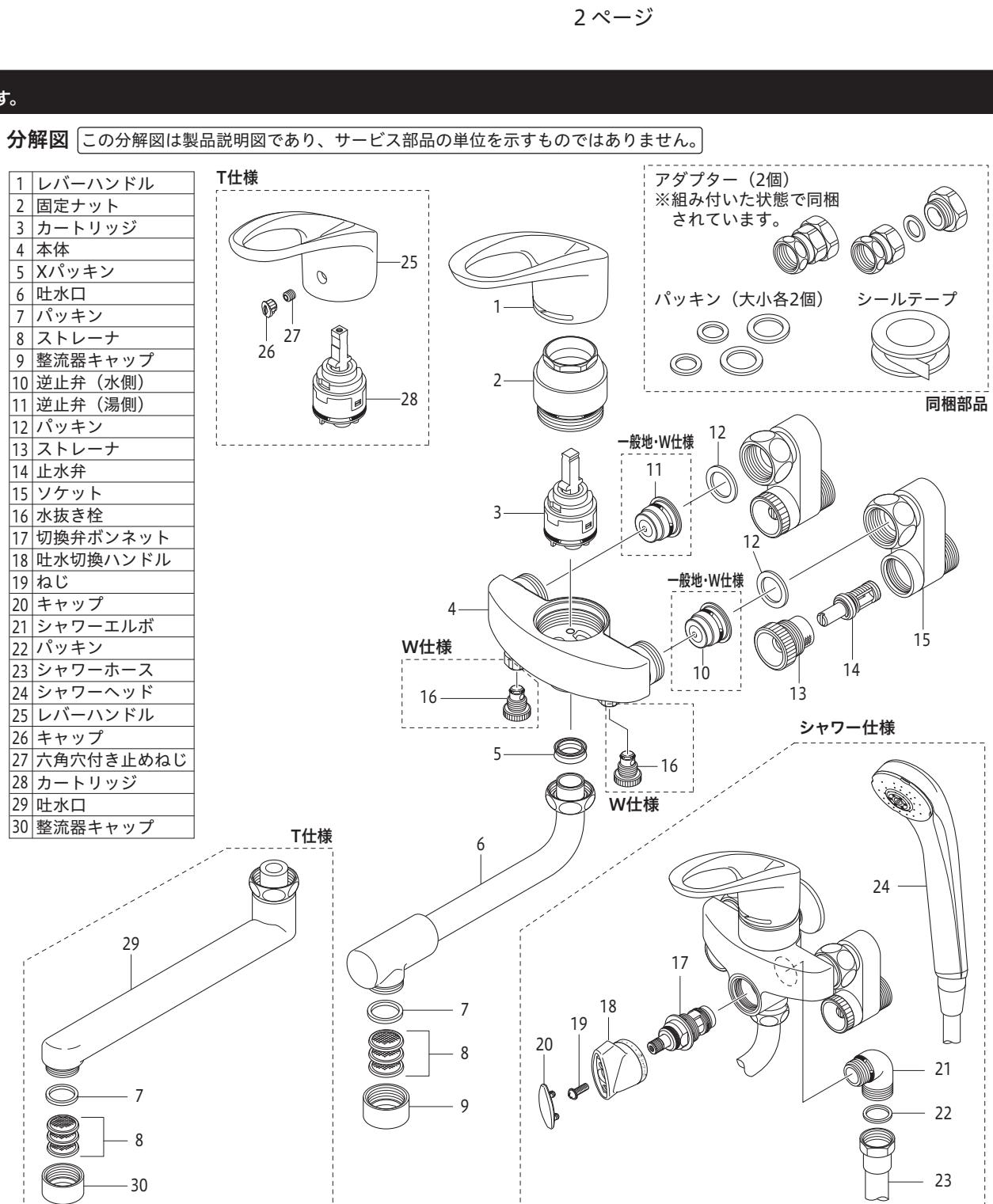
例: 2ハンドル混合水栓



[取り替え後]

KM5000U

2ページ



4ページ

3ページ

取り付け手順(本製品は既存品のソケットを付けたまま簡単に取替できます。)

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 既存の水栓本体の取りはずし

既存の水栓本体を取りはずします。既存のソケットがゆるまないように十分手で保持しながらはずしてください。(図1)

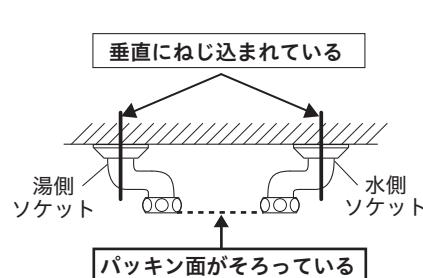
【お願い】既存のソケットが壁に垂直にねじ込まれており、湯側と水側のパッキン面が段違いにならないことを確認してください。(図2)

【△注意】既存のソケット部に腐食、ひび割れ、漏水などのないことを十分に確認してください。腐食やひび割れがありますと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

〈図1〉



〈図2〉 上から見た図

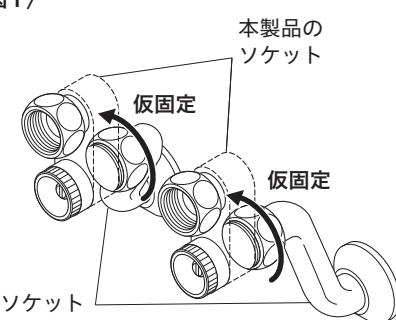


3-1 ソケットと本体の取り付け

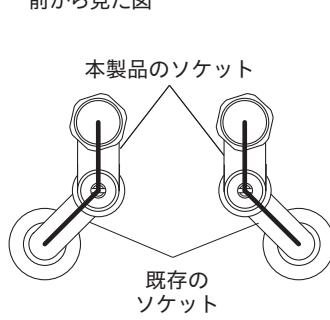
① 既存のソケットに本製品のソケットを仮固定します。(図1)

【お願い】ソケットは図2のような形になるよう取り付けてください。

〈図1〉



〈図2〉 前から見た図



アダプターを取り付けた場合は前出寸法などが大きくなります。

既存のソケットの仕様によって、本製品のソケットと既存のソケットの間に取り付けるパッキンの大きさ、アダプターが異なります。〈表1〉を参照して取り付けてください。

【△注意】この時、古いパッキンを取りはずし、付属の新しいパッキンと必ず交換してください。交換されていないと漏水するおそれがあります。

5ページ

3-2

〈表1〉

現在お使いの水栓のソケット	接続に必要な使用部品
G3/4 KVK、TOTO、LIXIL、INAX、カクダイ、SAN-EI(ナット付)	既存のソケット 大パッキン 本製品のソケット 大パッキン
G3/4 φ18 MYM(ナット付)	小パッキン
G3/4 KVK、TOTO、カクダイの一部(ナット無し)	大パッキンとアダプター アダプター(ナットを一部はずす)
W30-20 KVKの一部(ナット無し)	大パッキンとアダプター アダプター 大パッキン

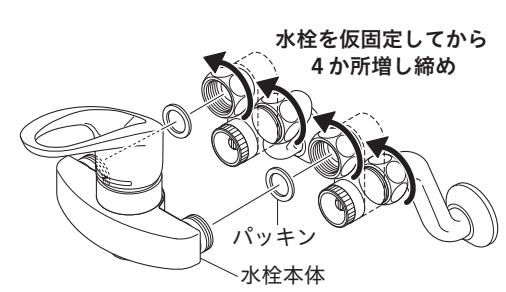
※2ハンドル混合栓専用です。上記以外のネジには接続できません。

② 水栓本体を仮固定して本体が水平になつたら、工具を使って増し締めします。

①で仮固定した箇所も同様に増し締めます。

【△注意】

締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。



4 シャワー ホースと吐水口の取り付け

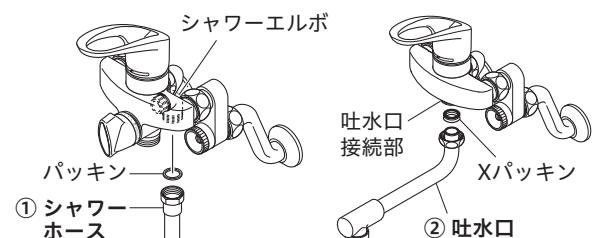
① シャワー仕様のみ

シャワー ホースをシャワーエルボに接続します。

② 吐水口を吐水口接続部に接続します。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】

締め付ける際はキズが付かないよう、当て布等をしてください。



6ページ

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ソケットと壁の間から水漏れがある場合は既存のソケットを取り付け直します。その後取り付け手順③より順番に取り付けてください。

既存のソケットの取り付け直し(水漏れがある場合)

① 元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。

② 既存のソケットを取りはずし、給湯・給水管内を清掃します。

③ 既存のソケットを仮ねじ込みします。

【お願い】

・ソケットは壁に垂直にねじ込み、湯側と水側のパッキン面が段違いにならないように取り付けてください。(図1)
・湯側と水側ソケットを「ハ」の字形にして、間隔を100~120mmで取り付けてください。(図2)

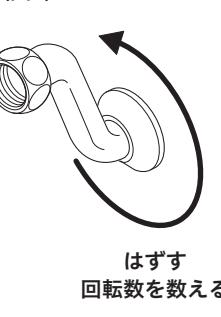
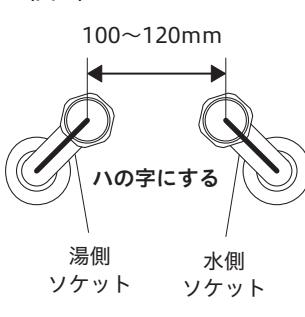
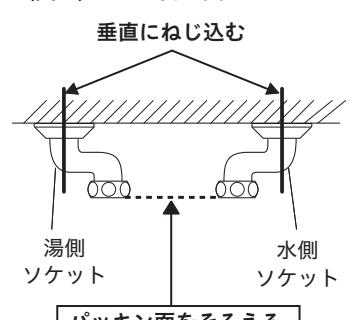
取り付け位置を確認して、ソケットを取りはずします。

この時、ソケットを取りはずす回転数を覚えておきます。(図3)

〈図1〉 上から見た図

〈図2〉 前から見た図

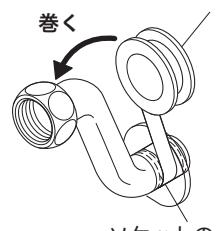
〈図3〉



④ ソケットのネジ部に、同梱のシールテープを巻いて(図4)、③で数えた回転数分壁にねじ込みます(図5)。

【お願い】ねじ込んだ部分がたつくなつた時はシールテープを多く巻いて調節してください。

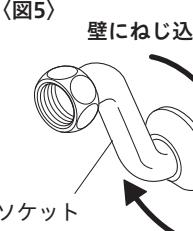
〈図4〉



シールテープ

ソケットのネジ部

〈図5〉



ストレーナ清掃のお願い

ソケットと吐水口のストレーナにゴミ等がつまると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

7ページ

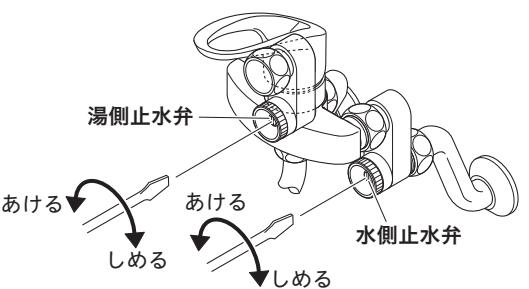
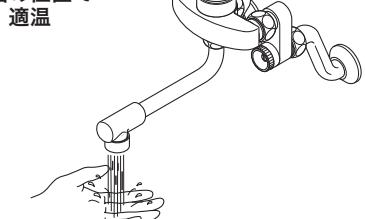
湯温・流量調節

レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。

上いっぱいに上げて適量

正面の位置で適温

レバーハンドル



故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従って一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	(シャワー仕様のみ)止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ 「湯温・流量調節」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	ストレーナは凍っていますか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ 「湯温・流量調節」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ 「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	8ページ 「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

8ページ

403813-07